

4 章 学習のまとめ

この章で学習した内容をふり返ってみましょう。

方程式とその解

▶ p.112

x の値によって成り立ったり成り立たなかったりする等式を、 x についての **方程式** といい、方程式を成り立たせる文字の値を、その方程式の **解** という。

$-3, -2, -1, 0$ のうち、
方程式 $5-2x=7$ の解は **-1** である。

等式の性質

▶ p.114

- ① $A=B$ ならば $A+C=B+C$
- ② $A=B$ ならば $A-C=B-C$
- ③ $A=B$ ならば $AC=BC$
- ④ $A=B$ ならば $\frac{A}{C}=\frac{B}{C}$ ($C \neq 0$)

方程式 $7x=28$ を、上の ④ を使って解くと、

$$\frac{7x}{\boxed{7}} = \frac{28}{\boxed{7}}$$

$$x = \boxed{4}$$

移項

▶ p.117

方程式 $2x-5=x+7$ を、移項して整理すると、

$$2x \boxed{-} x = 7 \boxed{+} 5$$

$$x = \boxed{12}$$

1 次方程式を解く手順

▶ p.121

- ① 係数に小数や **分数** があるときは、両辺に適切な数をかけて整数にする。 **かっこ** があればはずす。
- ② **移項** して、文字がある項どうし、数の項どうしを集める。
- ③ 両辺を整理して、 **$ax=b$** の形にする。
- ④ 両辺を x の係数 a でわる。

方程式の利用

▶ p.123

- ① どの数量を **文字** で表すかを決める。
- ② 数量の間の関係を見つけて、 **方程式** をつくる。
- ③ 方程式を解く。
- ④ 方程式の解が問題に適しているかどうかを **確かめる**。

比例式の性質

▶ p.130

$a:b=c:d$ ならば $ad=bc$

比例式 $2:9=6:x$ を解くと、

$$2 \times x = \boxed{9} \times \boxed{6}$$

$$2x = \boxed{54}$$

$$x = \boxed{27}$$

4 章で見つけた **!** を
ふり返って、学習感想を
まとめてみましょう。

- わかったことや
よかったこと
- 大切だと感じたことや
気づいたこと
- さらに学習して
みたいこと など



方程式の解を求めるとき、
文字に数を代入しなくても、
等式の性質を使えば解ける
ことがわかった。

移項を使って、方程式を手ざわ
よく解けるようになった。

方程式を利用して、身のまわり
の問題を解決することが
できるようになった。

文字が 2 種類ある方程式も
解いてみたい。

